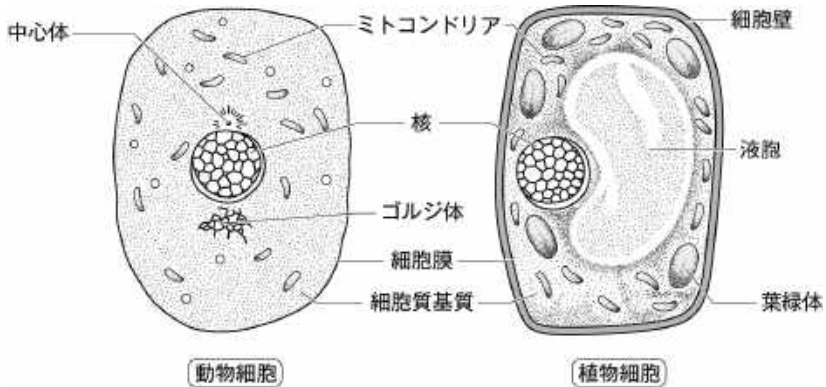


第1章 細胞

1 細胞の構造と機能

1 細胞の構造



細胞のつくりは、植物と動物で異なる。特に、植物と動物で違う部分を押さえておくとよい。どちらも共通して細胞の中心に核を持ち、その周囲には数種類の細胞小器官が存在する。

チェック問題

細胞壁や葉緑体は、植物細胞には存在するが、動物細胞には存在しない。
○か×か。

答：○

2 細胞小器官のはたらき

	器官	はたらき
原形質	核	遺伝情報であるDNAが集合した染色体を格納している。
	ミトコンドリア	好気呼吸の場で、生命活動に必要なエネルギー（ATP）を生成する（第4章を参照）。
	ゴルジ体	物質の貯蔵・分泌を行う。
	リボソーム	タンパク質合成の場。
	リソソーム	細胞に取り込んだ異物の消化器官。
	細胞膜	選択的透過性を持ち、物質の出入りを調整。
	中心体	動物細胞において、細胞分裂の起点となる。
後形質	葉緑体	光合成の場。
	細胞壁	植物細胞を支え、保護する。
	液胞	植物細胞において、不要物の貯蔵を行う。

チェック問題

中心体は、動物細胞では見られないが、植物細胞において細胞分裂の起点となる器官である。○か×か。

答：×

3 組織・器官

働きの似た細胞の集まりを**組織**といい、組織が集まって特定の働きをする部分を**器官**という。動物組織は、上皮組織、筋組織、神経組織、結合組織の4種類で、これらが組み合わさり、心臓、肺、小腸、目、などの器官をつくる。